

北里学級だよりNo.5

たんぽぽ

2016.9.5.



9月…月見団子作り（15日）

10月…ハロウィンの会

11月…北里祭見学（病棟内で）

12月…クリスマスの会

※「月見団子作り」では試食を行うので、食物アレルギーに関する確認書の提出をお願いします。（用紙は出席予定者に配布します）

始業式を実施～2学期がスタート～

9月2日（金）、北里学級2学期の始業式を行いました。病院からはいつもお世話になっている小児病棟の先生、学校からは北里学級を設置している相模原市立双葉小学校、麻溝台中学校の校長先生、教頭先生、そして相模原市教育委員会からも代表の方に参列していただきました。

長い夏休みは、入院中の児童生徒にとって「たいくつだった」「することがなくてつまらなかった」という声がよく聞かれます。2学期を迎えて、気持ちを新たに、そして病気や怪我を治して退院し、学校に戻るための気持ちを高めていってほしいです。



なぜうちの子だけが～病気の子を持つ親の気持ち～

「24時間テレビ」は、今年もたくさんの感動と、生きるということの意味について考えさせてくれました。

重い病気とたたかう子のお母さんが「なんでうちの子だけがこんな辛い思いをしなければならないのか」という気持ちから、お子さんが病気になったことを受け入れられなかったことについて話していました。そしてお子さんが必死に病気とたたかっている姿を見て「自分をもっと前向きにならなければ！」と気持ちを切り替えるまでに、「多くの人たちの支えがあった」というお話しが印象に残っています。

「支え合う」「寄り添う」とは、言葉にする以上に難しいことです。北里学級では、病気や怪我とたたかう児童生徒たちだけでなく、保護者の方の支えにもなれるよう、一人一人の気持ちになって寄り添う努力を続けていきます。

君こそ金メダル！～病気や怪我とたたかう勇気～

リオデジャネイロオリンピックでは、多くの選手の活躍を見て拍手を送り、感動した人も多かったことでしょう。すばらしい演技や記録は、選手一人だけでなく、多くの人々の協力、声援によってもたらされました。

入院している児童生徒が、病気や怪我とたたかう勇気を持ち、堂々と検査や手術に向かう姿は感動的です。リオ五輪を見ていて「君こそ金メダル！」そんな声をかけたくなりました。

月見団子をつくります～2学期の予定～

各学校では、体育祭、文化祭、校外学習など行事が多い2学期です。北里学級でも、「月見団子作り」など、みんなが楽しめる行事を計画しています。

北里学級で学ぶみなさんへ

麻溝台中学校 内山教頭先生より

北里学級始業式におじゃまするのは2回目ですが、今日は廊下で掲示物を見ていたら、素敵なギターの音色が聞こえてきました。中学生のSくんが弾いていたのですね。

廊下に掲示しているみなさんの作品は、どれも素晴らしいのですが、入院中の日常生活を表現している川柳や、自分は辛くても周りの人を思いやる気持ちにあふれた「私はしあわせ」に感動しました。

今みなさんは、病気や怪我で入院していて、自分の思い通りにならないことがたくさんあると思いますが、入院生活という、ちょっとだけ他の人と違う体験が長い人生の中で必ずプラスになると思います。施設の整った北里大学病院の北里学級でしっかり学習して、元気な姿で一日も早く所属する学校に戻れるようにがんばってください。

